

水泳教室の受講者の保護者の皆様へ(授業編)

一般社団法人日本スイミング協会は、プールの次亜塩素酸ナトリウムによる殺菌は非常に強力であること、また湿度(50%~60%)を保つことによって、プール施設内は感染防止に優れた環境であり、感染リスクは少ないものとしています。美唄市スポーツ協会では、さらに感染リスクを軽減させるために、安全面に徹底した配慮を行ったうえで、授業を再開します。

①プールの水質管理・施設管理を徹底しております。

※プール内は常に残留塩素濃度が基準値以内(0.4mg/L以上)になるよう、徹底した「塩素消毒」を行っております。ろ過機能により全てのプール水は常に循環しており、これによりプール部分における安全性は保たれます。

②子供達の点呼は、各ステップ担当の指導員の場所で行います。

※集団・密集を避ける為、ステップごとに集合する場所を分けております。各場所には担当の指導員がおりますので、ご集合下さい。

③指導員は、マスク着用をしております。

※協会職員が全員マスク着用しておりますが、授業中に指導員からの前方飛沫等を防ぐため、指導員は「水泳指導員用マスク」を着用して指導をします。

④お子様の体調等が悪いと指導員が判断した場合は、プールから上がさせます。

※点呼時に、必ず体調確認などをしてから入水いたしますが、授業中に体調が悪くなった場合は発熱等が無くても、プールから上がらせて速やかに着替えを行うように致します。その際にはすぐに保護者様へご連絡を差し上げます。

⑤採暖室やストレッチプールでの密集を避ける為、授業終了時間を調整します。

※授業終了後、暖を取るためにストレッチプールや採暖室へ案内しますが、全てのステップの子供達が同時に授業を終了すると、密集状態になりますので、顔付け教室から順に、通常より5~10分程度早めに授業を終了しますのでご理解ください。

⑥水泳教室終了後は、速やかに退館させるように声掛けいたします。

※更衣室や館内に長時間滞在していると、コロナウイルス感染へのリスクも高くなる可能性があるため、水泳教室終了後は速やかに着替え、退館するように声掛けを行います。

これは現段階での対応であり、今後状況によっては変更する場合があります。
何卒ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。